



「使用しながら建て替え」構法

関東の工場や学校に

ミラクル・マネジメント

ミラクル・マネジメント(東京都品川区、瀧川昇三社長、03・571

9・3733)は、建物の使用を続けたまま増築・建て替えができる「ミラクル構法」の関東での普及を本格化する。8月をめどに現在1000万

円程度の投資で、主に西田市)が開発し、日本中で実績を重ねている。ミラクル・マネジメントは関東地域で同技術を普及するため、ミラクルスリーから「のれん分け」の形で、同技術の利

用許可を受け、07年12月に設立した。

初年度10億円の受注目標のうち既に7億円の受注を決めているが、さらなる受注拡大を図る。工

事中でも顧客が事業活動を継続できる同技術の利点をアピールし、学校に

ミラクル構法は既存建物の外周に鉄骨を組み、建物の利用を続けたまま増築や耐震強度を向上させる技術。ミラクルスリーコーポレーション(大阪府吹

田市)が開発し、主に西田市)が開発し、日本中で実績を重ねている。ミラクル・マネジメントは関東地域で同技術を普及するため、ミラクルスリーから「のれん分け」の形で、同技術の利

用許可を受け、07年12月に設立した。

初年度10億円の受注目標のうち既に7億円の受注を決めているが、さらなる受注拡大を図る。工

事中でも顧客が事業活動を継続できる同技術の利点をアピールし、学校に

授業を続けながら校舎の建て替え、耐震補強をすることを提案していく。

また、医療法人に高齢者専用賃貸住宅の経営が解禁されたことを受け、病院運営を続けながら、その上に高齢者向け賃貸住宅を増築する工事の取り込みも図る。

首都圏「1」こそ

▽:「建物を更地に建てる時代は終わりに近づいている」とミラクル・マネジメント専務の池田

よの「今あるものを再生するものがビジネスになる」。他社で住宅関連の仕事をしてきたが、同構法の将来性を見込み、売り込み役を引き受けた。



池田さん オナーはテナントの営業が止まるのを恐れ増築工事をためらうが、同構法ならその心配はない。「これが知られれば爆発的に広がる。土地の少ない首都圏にこそ合う技術」と普及に自信を見せる。

一成さんは、建物の稼働させながら上部の増築ができるミラクル構法をアピールする。

▽:人口減少社会に入った中、建物を新築する

普及に自信を見せる。